

軽防協ニュース速報 号外

2007年10月9日

軽種馬防疫協議会 事務局
(JRA 馬事部防疫課)

国内における馬インフルエンザの発生 (その8)

秋田県仙北市で開催中の秋田国体の馬術競技(23競技)に参加している馬20頭が、馬インフルエンザに感染していることが確認され、8日以降の競技(8競技)を中止した。仙北市の国体馬術競技用の厩舎12棟に計170頭(47都道府県)が入厩していた。

今月5日、熊本県の出走馬の所属厩舎(熊本県阿蘇市)で馬インフルエンザが発生したとの報告を受け、同県の参加馬4頭を検査したところ、3頭で陽性が確認された。同日に同じ棟に入厩していた14頭について検査を行った結果、3頭(徳島、長崎、沖縄県各1頭)で陽性が確認された(計6頭)。国体大会本部は感染馬と同棟にいた馬以外の参加を認め、競技を継続していたが、その後も6日1頭(山梨県)、7日2頭(山形、大分県)と検査で陽性が確認された。8日に競技に参加する75頭を検査したところ、11頭(香川、鹿児島各2頭、三重、京都、岡山、広島、徳島、大分、宮崎県各1頭)で陽性が確認され、主催者で協議した結果、競技場内における馬インフルエンザがさらに拡大しているとの判断から、同日以降の競技中止を決定した。

国体の馬術競技開催に際しては、国内で馬インフルエンザが発生したことを受け、「秋田わか杉国体馬術競技における馬インフルエンザ防疫対策」を作成し、参加馬は各県出発時と秋田県到着時の2回検査を実施するなどの対応を実施していた。